

平成29年度事業 総合戦略効果検証

No	ページ	① 交付対象事業の名称	② 担当課	③ 実施状況	④ 主な財源	⑤ 実績額 単位:円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本年度事業終了後における実績値		⑧ 議会からの 評価・意見	⑨ 外部有識者からの 評価・意見	⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について		
							指標	指標値	単位	目標年月	実績値	単位			事業効果	今後の方 針	今後の方針の理由
1	58	誘客プロモーション事業 (観光プロモーション推進事業)	観光商工課	実施	町単	4,618,906	指標① 入湯客数	875,000	人	平成32年3月	795,564	人	効果があった	〇数値的に減少していても、効果が有ったというのには違和感がある。減った要因についてももう少し深く検証し改善につなげるべき。	〇これまでは首都圏が中心であったが、熱海や三島の来誘客に訴求してはどうか。	事業の継続	観光協会の補助金の範囲内において継続的に実施していく。
2	58	誘客プロモーション事業 (インバウンド対策推進事業)	観光商工課	実施	町単	4,203,000	指標① 外国人入湯客数	25,000	人	平成32年3月	14,954	人	効果があった	1と同様	事業の継続	外国人観光客の動向については不確定要素も大きい。誘客対策の内容についても検討し継続して進めていきたい。	
3	58	無線LAN機器設置推進事業	観光商工課	終了	町単	480,000	指標① 外国人入湯客数	25,000	人	平成32年3月	14,954	人	効果があった	1と同様	予定通り事業終了	町内の主な旅館や観光施設においてWi-Fi環境の整備はおおむね完了したと考えられる。来年、直売所ができるので、その休憩所にもWi-Fi環境を整えたい。	
4	59	インバウンド団体バス誘致事業	観光商工課	実施	町単	780,000	指標① 外国人入湯客数	25,000	人	平成32年3月	14,954	人	効果があった	1と同様	事業の継続	継続して実施していく。	
5	59	多言語対応観光人材育成事業	観光商工課	未実施			指標② バス 46台				26	台			事業内容の見直し(改善)	雇用対策を優先に実施したい。	
6	60	若年層の旅行ニーズ把握及び誘客活動の推進	観光商工課	未実施			指標③ 乗車人数 1200人以上				619	人			事業内容の見直し(改善)	財源不足により実施が困難である。学校施設(体育館)の活用等について検討したい。	
7	60	スポーツ合宿・ゼミ合宿誘致事業	観光商工課	未実施			指標① 外国人入湯客数	25,000	人	平成32年3月	14,954	人			事業内容の見直し(改善)	財源不足により実施が困難である。学校施設(体育館)の活用等について検討したい。また、クロスカントリーコースや町立体育センターの補修等が必要となる。町内にバレーやサッカーのクラブチームがあり、選手300人ほどの合宿を町内で行っている。そのようなクラブチームと組んで呼び込んでいくのも一つの方法である。	
8	61	イベントの開催	観光商工課	実施	県他、その他団体会計	0	指標① イベント実施数	5	回	平成32年3月	3	回	非常に効果的であった		事業の継続	民間が実施する音楽イベント、野外スポーツを中心に実施したい。	
9	61	イベント参加者へのプロモーション事業	観光商工課	未実施			指標② イベント参加人数	250	人	平成32年3月	9,500	人			事業の継続	イベント実施の際に人手が足りず未実施となっているが、可能な限り実施したい。	
10	62	町有地の活用方針の検討	観光商工課	実施	町単	1,495,800	指標③ 消費喚起交付金利用	160	件	平成32年3月					事業の継続	観光地エリア景観計画をもとに熱川温泉及び稲取温泉内の町有地の将来構想について工学院大学に検討してもらったものを実現化していく。	
11	63	農工商観光の連携体制の確立	農林水産課 観光商工課	未実施			指標① 天草漁従事者数	1	人	平成32年3月	1	人			事業の継続	H29年4月に漁業振興(天草漁復活)に従事してもらった地域おこし協力隊を1名採用。作業については漁協の担当者とともに行うため回数としては少ないのが現状。難しい面もあるが、地元ダイビングと組んで天草漁体験をやってみたい。	
12	64	天草漁復活プロジェクト	農林水産課 観光商工課	実施			指標② 天草水揚量	14,000	kg	平成32年3月			効果があった	〇担当者は漁業者のため、好天の時は本業で出漁できない。漁の時は周知をするなどやり方の改善を望む。		事業の継続	H28年4月に農業振興(オリーブ栽培)に従事してもらった地域おこし協力隊を1名採用。伊豆急の園での作業をしながら技術を学んでいるが、今後の独立を考え町内に自分の苗木を植樹。数年後の収穫を目指す。
13	64	オリーブの育苗プロジェクトの体制の確立	農林水産課	実施			指標③ 天草水揚量	14,000	kg	平成32年3月			効果があった	〇栽培方法のノウハウを指導する体制が不足している。防除法などの指導会を行って欲しい。		事業の継続	

No	ページ	① 交付対象事業の名称	② 担当課	③ 実施状況	④ 主な財源	⑤ 実績額 単位:円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本年度事業終了後における実績値		⑧ 議会からの 評価・意見	⑨ 外部有識者からの 評価・意見	⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について		
							指標		単位	目標年月	実績値	単位			事業効果	今後の方 針	今後の方針の理由
							指標①	指標②									
14	65	起業家の育成及び誘致	観光商工課	実施			指標① 起業数	30	件	平成32年3月	0	件		○空き店舗を活用しての起業家に対しては情報提供など何らかの支援をしてほしい。	事業の継続	国より創業支援事業計画の認定を受けた。創業支援事業補助金要綱を策定するなど創業支援を加速化するために継続実施していく。	
15	65	起業家が集まる地域づくり	観光商工課	実施			指標① 起業数	30	件	平成32年3月	0	件			事業の継続	14.15.20は1つの政策とした方がよい。	
16	66	企業等と求職者のマッチング	企画調整課	実施	県他、その他団体会計	3,111,382	指標① 就職合同説明会での新卒者の採用人数	30	人	平成32年3月	5	人	効果があった	○町に就職した若者の定着率を向上するのが課題である。事業所の方でも真剣に取り組んで欲しい。 ○定着しない原因を解明して問題の解決につなげて欲しい。 ○他の市町と合同で行うことで、うちの町が埋没していないか。	○求職者は伊豆には良いイメージを持っているが、これという売り込むための決め手が欲しい。 ○これからは外国人の受け入れも真剣に考えていかなければならない。	事業の継続	町で支援し商工会が実施している都内での企業説明会を継続して実施。29年度は県の補助金を受け、美しい伊豆創造センターが中心となり実施しており、今後も同様の方法で継続していきたい。
17	66	後継者不足の解消	企画調整課	実施	国・県補助金等		指標① 新規農業・漁業(後継者)数	8	人	平成32年3月	2	人	効果があった		事業の継続	29年度に農業、漁業振興ということで地域おこし協力隊を1名ずつ計2名採用。31年度に任期を迎えるが、その後の採用については各団体と協議し決定していく。	
18	67	女性が仕事、家庭(子育て)を両立できる環境の創出	教育委員会 住民福祉課	未実施			指標① 「男女共同参画社会づくりに関する取り組みを宣言」する事業者・団体の登録数	10	件	平成32年3月				○内容的に県の施設や国の施策にゆだねている部分がある。町独自の施策を検討して欲しい。			
19	67	就職支援(女性・高齢者・障がい者)	住民福祉課 観光商工課	未実施			指標① 「男女共同参画社会づくりに関する取り組みを宣言」する事業者・団体の登録数	10	件	平成32年3月			18と同様				
20	67	起業支援(女性・高齢者・障がい者)	観光商工課	実施			指標① 「男女共同参画社会づくりに関する取り組みを宣言」する事業者・団体の登録数	10	件	平成32年3月					事業の継続	14.15.20は1つの政策とした方がよい。	
21	68	若者サークル事業	企画調整課	実施	町単	732,827	指標① 若者サークルの数	3	団体	平成32年3月	23	人	効果があった		事業の継続	若者サークルとしては28年度に引き続き園芸関係では計4回、23名の参加者があった。29年度はこれをさらに進める形でNPO団体に委託し、研修やタイロクでのイベント、スポーツ体験などを通して交流の場を提供した。全19回、延べ136人が参加した。	
22	68	婚活事業実施者への補助金の交付	企画調整課	未実施			指標① 若者サークルの数	3	団体	平成32年3月							
23	68	ライフプラン授業	健康づくり課	終了	町単		指標① 高齢出産年齢、出産適齢期を知る人数	600	人	平成32年3月							
24	69	子ども未来支援事業	健康づくり課	実施	町単	1,530,300	指標① 出生数	60	人	平成32年12月	33	人	効果があった		事業の継続	妊娠にいたる方がおり効果がみられるため。	
25	69	子宝祝金事業	住民福祉課	実施	町単	3,350,000	指標① 出生数	60	人	平成31年12月	35	人	効果があった	○少子化対策事業の一環として効果は認められるが、将来負担に対する対策を望みたい。	事業の継続	町では平成30年より多子世帯(3人目以降の子どもの保育料及び幼稚園料を現行の料金の半額とした。経済的に余裕がないことも出生数減少の要因でもあり、一時的ではあるが祝い金が保護者の経済的負担を軽減させる事業と考えている。保育料無償化と合わせ出生数増加に期待できる。	
26	69	子ども医療費助成	住民福祉課	実施	国・県補助金等	2,444,423	指標① 出生数	60	人	平成31年12月	35	人	相当程度効果があった	25と同様	事業の継続	中学生までの医療費を無償化したことで子育ての負担がかなり軽減されたのではないかと考える。町は平成30年10月より18歳までを無償とする計画で、医療費がかかる年齢を引き上げることによって充実した子育て環境を整えることができる。	
27	69	子育て用具購入費助成事業	住民福祉課	実施	町単	155,000	指標① 出生数	60	人	平成31年12月	35	人	効果があった		事業の継続	若い世代が定住し、安心して子供を産み育てる環境を整備するため事業を開始。今後も子供が誕生した喜びと健やかに成長することを願い助成し、子育て支援の一助とするものです。	
28	70	家族手帳交付事業	企画調整課	一時中断			指標① 包括支援センターにおける相談件数	30	件	平成32年3月					事業の継続	内容の訂正が必要。30年度中に実施予定。	
							指標② 包括支援センターにおける利用者満足度	80	%	平成32年3月							
							指標③ 配布者	150	組	平成28年3月							

No	ページ	① 交付対象事業の名称	② 担当課	③ 実施状況	④ 主な財源	⑤ 実績額 単位:円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本年度事業終了後における実績値			⑧ 議会からの 評価・意見	⑨ 外部有識者からの 評価・意見	⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について		
							指標		指標値	単位	目標年月	実績値	単位			事業効果	今後の方針	今後の方針の理由
							指標①	指標②										
29	70	子育て支援事業(子育て世代包括支援センター)	健康づくり課	実施	国・県補助金等	129,780	指標① 包括支援センターにおける相談件数	30 (4年間で)	件	平成32年3月	32	件			事業の継続	妊娠期からの切れ目ない支援の継続のため。相談日を乳児が集まる事業に合わせて開催し、相談件数が増加した。		
30	70	認定こども園に関する検討	住民福祉課 教育委員会	未実施			指標① 包括支援センターにおける相談件数	30 (4年間で)	件	平成32年3月							認定こども園への移行は具体化されていないが、乳幼児数が年々減少している状況から一本化していかねばならない時期に直面している。数年の内には検討、実施していかなければならない問題であるように思う。関係施設からは32年度を目標に要望も出ている。	
31	71	子育て支援(ファミリーサポート)事業	住民福祉課	実施	町単	143,996	指標① 子育て支援事業の登録者数	50	人	平成32年3月	35	人			事業の継続	H29より事業を開始し、目標の会員数に近づいてきている。利用実績はゼロではあったが、利用のニーズがあった時に備えて今後も準備していきたい。		
32	71	子育て支援事業(子育て世代交流)	住民福祉課	未実施			指標① 子育て支援事業の登録者数	50	人	平成32年3月							H29より事業を開始し、目標の会員数に近づいてきている。利用実績はゼロではあったが、利用のニーズがあった時に備えて今後も準備していきたい。	
33	72	郷土の偉人を通じて郷土愛を育む教育	教育委員会	実施		1,080,000	指標① 郷土の偉人を紹介するDVDの活用件数	100 (4年間で)	件	平成32年3月	0	件					○地域に対する愛着が醸成されるものと期待したい。	
34	72	自然環境を活かした教育	農林水産課	実施	町単	0	指標① 「磯の体験学習」の参加者数	40	人	平成32年3月	0	人			事業の継続	漁業の担い手の育成を目的に今後も継続して事業を行う。		
35	73	お試し居住事業	企画調整課	実施	町単	645,121	指標① 移住世帯数	15 (4年間で)	件	平成32年3月	2	件			事業の継続	お試し体験施設の利用者については予約開始まもなくでかなり埋まってしまうほどの人気ぶりなので、今後も継続し移住者の増加につなげたい。また、使用料の見直しも行ってきたい。		
36	74	地域おこし協力隊受入事業	企画調整課	実施	国・県補助金等	18,358,803	指標① 地域おこし協力隊員の採用者数	9 (4年間で)	人	平成32年3月	6	人			事業の継続	新たに3名を採用し、6名となった。平成30年度に2名(1名途中退任)が任期を迎え、3名となる。観光商工課でのロケ支援など今後必要とされる課・局があれば、協議の上、採用をしていきたい。		
37	74	空き家バンク推進事業	企画調整課	実施	町単	0	指標① 移住世帯数	15 (4年間で)	件	平成32年3月	2	件			事業の継続	29年度の実績はなかったが、移住・定住イベントでは、相談者に対し空き家バンク制度については必ず説明をしている。何人かは必ず興味を示してくれるので、継続して事業を行ってきたい。		
38	74	UJターン促進事業	企画調整課	実施	県他、その他団体会計	3,111,382	指標① 移住世帯数	15 (4年間で)	件	平成32年3月					事業の継続	H29年度より美しい伊豆創造センターが中心となり事業を実施しており今後も同様に事業を実施していく。		
39	75	日本版CCRCIに関する調査研究	健康づくり課 企画調整課	未実施			指標① 移住世帯数	15 (4年間で)	件	平成32年3月								
40	76	移住者サポート事業	企画調整課	未実施			指標① 移住世帯数	15 (4年間で)	件	平成32年3月	0	件			事業の継続	今後も移住されてくる方へのサポートはしっかりと行っていきたい。		
41	76	若者定住促進住宅取得補助金	企画調整課	実施	町単	2,500,000	指標① 若者住宅取得者	3	件	平成32年3月	3	件			事業の継続	29年度からの事業だが、30年度も現在8件が確定、予定されている。また、移住・定住フェア等に参加しているときの相談者からは、移住した際の特典など聞かれることが多く、このような制度は必要と感じた。しかし、補助額が大きく今後続けていくには補助額の見直しをしていく必要がある。		
42	77	大学生活動等の支援	企画調整課	実施	町単	2,792,959	指標① 大学とのコラボレーションによるプロジェクトの数	4	件	平成32年3月	4	件			事業の継続	大学生が地域内で活動することが地域活性の原動力になっているため、引き続き町民との関わりを強めながら事業を行っていく。また、当町でのイベントや活動に協力してくれる学生については補助制度も考えていきたい。		
43	78	クリエイター創出事業	企画調整課	実施			指標① クリエイター移住受入者	5 (4年間で)	件	平成32年3月	2	件			事業の継続	H30年度も1件(2名)受入者有り。体調不良により1名が帰郷したが、30年度当初は4名が活動、ダイロウや図書館にて展示会を実施し、マスコミにも取り上げられ他市町からの問い合わせもきている。引き続き事業を継続して行っていく。		

No	ページ	①	②	③	④	⑤	⑥				⑦			⑧	⑨	⑩	
		交付対象事業の名称	担当課	実施状況	主な財源	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本年度事業終了後における実績値			議会からの 評価・意見	外部有識者からの 評価・意見	実績値を踏まえた事業の今後について	
							指標	指標値	単位	目標年月	実績値	単位	事業効果			今後の方 針	今後の方針の理由